

第3回 境川修景整備検討会議事録（骨子）

1 開催日時 令和2年3月27日（金） 午後3時00分～午後5時00分

2 開催場所 浦安市役所10階 協働会議室

3 出席者

（委員）

陣内会長、佐々木副会長、小檜山委員、知久委員、橋野委員、石川委員（計6名）

（オブザーバー）

千葉県葛南土木事務所 徳留次長、（随行）畑本調整課長

（事務局）

都市整備部 板橋次長

道路整備課 大木課長、左海主幹、西村課長補佐、上田係長、

宇田川主任主事、竹内主任主事、岩楯主任主事

（事務局補助）

公益財団法人リバーフロント研究所 土屋、二瓶、利満、坂本

4 議題

(1) 前回までの振り返り

(2) 報告書案

(3) 今後の進め方（行政間協議・市民参加推進等）

(4) その他

5 会議経過

(1) 前回までの振り返り

事務局より前回までの振り返りと本日の内容について説明を行った。

(2) 報告書案

以下の指摘を踏まえて報告書を取りまとめ、市民にも公表することが了承された。

①Aゾーンについて

商業活動活性化の可能性のあるところなので、しっかり取り組む姿勢を明示すること。

②BCゾーンについて

整備がほぼ完了しているBCゾーンについても、利活用等に関して一体的に対応すること。

③D1-1、D1-2、D2ゾーンについて

- ・多くの小段が計画されているが、箇所別の設置の必要性を精査し調整すること。
- ・D1-1ゾーンの両岸連絡動線については、設置目的を整理し、整備に当たっての要件に見合った手法を検討すること。なお、仮設浮橋、チェーンフェリーは魅力があるが、管理用通路から水面までのアクセス路についての配慮についても言及すること。
- ・D1-1ゾーンは最も川らしさを感じさせる場所でSUP・カヌーなどの水遊びや自然観察の場、川の知識を学ぶ場として生かすべき場所であることを報告書に明記すること。

(3) 今後の進め方

- ・段階的整備方針と、事業化に向けた今後の取り組みを、報告書に記載すること。
- ・愛知県岡崎市の乙川のかまちづくりの事例を参考資料として記載すること。
- ・報告書に記載する目的や考え方を基本とし、イメージ図に囚われることなく、より魅力的なデザイン設計を進めることを前書きに記載すること。

(4) その他

これまでの検討会で出た意見等を踏まえ、最終的な報告書を取りまとめることとする。

6 傍聴 4名

問い合わせ先 都市整備部 道路整備課 河川海岸係 電話：047-351-1111（内線18256）